

【注意】猛毒の針を持つ貝が見つっています!

高知県の甲浦において、エビ網に南方系の猛毒の巻貝がかかりました。軍手の上からも刺されることがあり、刺されると死亡するおそれもある大変危険な貝ですので、十分ご注意ください。

アンボイナ貝(沖縄での通称:ハブ貝)

- 10cm以上に成長する南方系の巻貝。
- 今回見つかったのは殻長12cmのものと10cmのもの2個体。
- 口内に猛毒を注入する毒針を隠し持つ。
- 毒はコトキシンという神経毒。
- 本種は有毒のイモガイ類の中でも特に死者や重症者が多い。



刺された場合は一刻も早く心臓に近い所を紐などで縛り、毒を吸い出し、医療機関を受診する必要があります。

【経緯】

姫路市立水族館が水族館展示用として高知県漁協甲浦支所の漁業者から購入したものの中に、アンボイナガイが2個体混じっていることが確認され、近隣の徳島県にも本日(10月4日)情報提供があった。

【今回採集されたアンボイナガイの情報】

採集日 10月1日頃

採集個体数 2個体

採集地 高知県安芸郡東洋町甲浦地先

漁法 エビ網

大きさ 殻長12cmおよび10cm